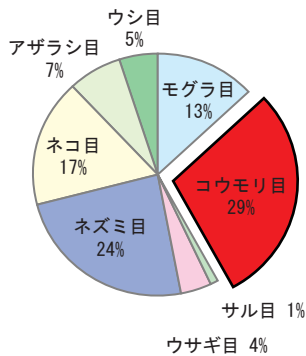


# コウモリ類調査への取り組み

## 日本のコウモリ

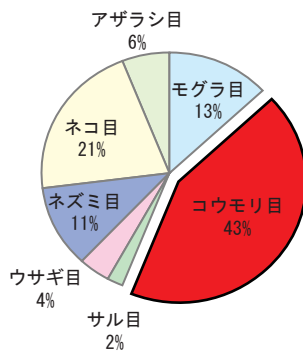
日本の哺乳類は136種います。そのうち、コウモリ目は39種であり、最も種類の多いグループであることが知られています。コウモリの主な餌となっているのが昆虫類です。1頭が1日に400～500匹もの昆虫類を食べるため、コウモリ類は生態系のバランスを保っているとも言われています。



## レッドデータブック記載種 (貴重な種)

レッドデータブック記載種の哺乳類53種のなかで、コウモリ目は23種と、哺乳類全体の43%を占め、コウモリ類には貴重な種が多数います。

(注) 種類は「日本産野生生物目録—本邦産野生動物の種の現状—脊椎動物編(1993年12月、環境庁)」から、カウントした。



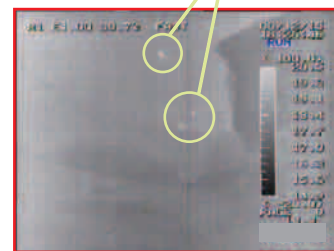
## コウモリ類調査への取り組み

以上のように、コウモリ類を調査することは環境アセスメントを行うにあたり重要であるにもかかわらず、コウモリ類が夜行性であり、目視による確認が難しいという理由から、調査対象外とされてきました。当社ではこの点に注目し、最新の研究、知見を取り入れ、コウモリ類の調査に力を注いでいます。

### コウモリ類調査への取り組み

- Bat detectorによる超音波の確認  
コウモリ類が発する超音波をBat detector(超音波探知機)によって確認します。
- 霞網による捕獲調査  
捕獲申請を行い、霞網による捕獲調査を行っています。
- 洞窟調査  
コウモリ類のねぐらとなりうる洞窟に入り調査を行っています。
- 赤外線カメラによる撮影  
熱を感知する赤外線カメラにより、コウモリを確認しています。
- セミナーや技術研修に参加

暗闇で熱源(コウモリ)が光っている



赤外線カメラによる撮影



コキクガシラコウモリ  
(*Rhinolophus cornutus*)